
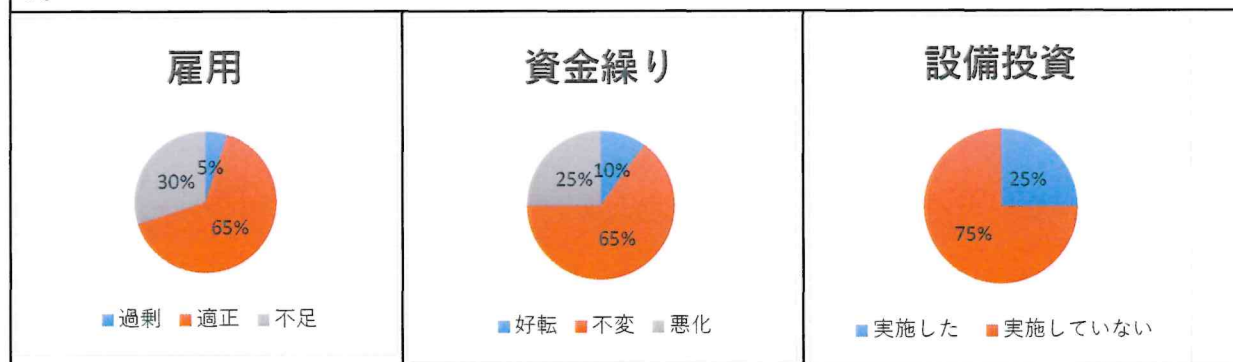


稲美町の経済の動き				第6号				
				発行月：令和4年10月 調査対象：令和4年7～9月				
《業況》				《採算》				業況
製造業		建設業		製造業		建設業		
良い	1	良い	0	黒字	1	黒字	1	
普通	1	普通	4	収支トントン	1	収支トントン	3	
悪い	3	悪い	0	赤字	3	赤字	0	
小売業		サービス業		小売業		サービス業		
良い	0	良い	1	黒字	1	黒字	1	
普通	3	普通	2	収支トントン	4	収支トントン	4	
悪い	2	悪い	3	赤字	0	赤字	1	

【稲美町の今期の景況】

コロナ禍の影響が続く中で、原油価格・物価高騰が業種に関係なく町内全体に広がっている。物価高騰分を販売価格や取引価格等に転嫁できず、利益が減少している事業所が多く見られる。しかし、経費節減や新たな販売方法を開拓するなど、経営努力によりプラスの効果が出ている事業所も見受けられる。



【兵庫県の景気動向】

兵庫県の景気は、持ち直しの動きとなっている。企業の業況判断は、足元が改善し、先行きは悪化すると見込んでいる。個人消費は、ゆるやかに持ち直している。輸出は増加している。設備投資は増加計画にある。生産は一進一退の動きとなっている。有効求人倍率は前月を上回った。雇用者所得は弱めの動きとなっている。倒産件数は前年を下回った。

【全国の景気動向】

景気は、緩やかに持ち直している。ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【今季の景況を踏まえた経営指導員のコメント】

町内において依然として厳しい状況が続いている。商工会では、販路開拓のための「持続化補助金」、「事業再構築補助金」等の各種補助金申請支援、運転・設備資金を確保する「マル経融資」等の金融支援、経営全般について相談できる「専門家派遣」や専門家による相談窓口を設けているので、ぜひ活用いただきたい。